

令和3年度 佐久大学・佐久大学信州短期大学部免許状更新講習 講習一覧(選択必修領域)

領域・講習名	事項	講習の概要	担当講師	会場	時間数	日程	受講対象者			定員
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等	
【選択必修】異文化接触とコミュニケーション	国際理解及び異文化理解教育	多文化共生が問われている日本には、多様な家庭環境に育つ児童や青少年が存在する。子供たちが持つアイデンティティと保護者のアイデンティティ間で少なからず派生する異文化衝突は時に学修場面や教育場面でも影響を及ぼしている。子供たちと保護者のケアを担う教育者として、異文化理解とはどういうことなのか、またどのようにコミュニケーションを取りより良い教育環境を提供できるのか、海外の育児事例や異文化事例を通じて参加者と一緒に考えてきたい。	廣橋 雅子(佐久大学信州短期大学部准教授) 田中 由美子(佐久大学別科助産専攻講師)	佐久大学講義室	6時間	令和3年9月4日(土) 9:00~16:10	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	80人
【選択必修】教育現場における情報セキュリティの在り方	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)	社会システムのICT化に伴い、教育現場もICT化が進みつつある。近年は児童・生徒達の将来を見据えたICT活用の教育だけでなく、現在の児童・生徒を守るための情報セキュリティが求められている。本講習では情報技術だけでなく、社会学・教育学などの知見から今日のICT社会を捉えなおし、教育現場における情報セキュリティの在り方について解説する。	三池 克明 (佐久大学信州短期大学部准教授)	佐久大学講義室	6時間	令和3年8月8日(日) 9:00~16:10	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	70人
【選択必修】学校、家庭及び地域の連携および協働	学校、家庭及び地域の連携及び協働	教育政策の近年の動向を踏まえ、連携の定義、連携の必要性を理解したうえで、学校・家庭・地域社会の連携活動について学ぶ。 ①連携の具体的な事例から学ぶ。②様々な事情を抱えながら成長発達していく現代の子どもを支える地域の社会資源を知る。③②を踏まえ、地域全体で子どもを支える条件の整備と体制づくりを考える。④連携体制を構築するための具体的な活動を検討し、提案する。①から④までを通して、学校、家庭、地域の連携および協働について理解を深める。	佐藤 嘉夫 (佐久大学人間福祉学部教授・副学長)	佐久大学講義室	6時間	令和3年9月26日(日) 9:00~16:10	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人